

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



関東地方でも梅雨入り宣言が
出されました。

この時期には、毎朝空を仰ぎ、
おひさまのご機嫌を伺うのが
日課になりそうですね。

梅雨時は、湿気によるカビや異臭の発生、食中毒の心配や洗濯物がスッパリ乾かない・・・等などマイナスのイメージが強いのですが反面、大地や樹木を潤す大切な資源であり、水不足は、私たちの生活にも大きな影響を及ぼします。

定まらない陽気に、体調を崩される方もいらっしゃるかもしれませんが、こんな時は静かに読書をしたり、好きな音楽に耳を傾けたりしてゆっくりお過ごしください。

普段のお疲れを癒し、暑い夏を迎えるための体力増強を心掛けましょう。

どうぞお元気で！



快適に生活をするために！（6）

住宅は、他の商品と異なり、住まい方、手入れの仕方で寿命が長くも短くもなるものです。

いつまでも快適に暮らすための参考となるポイントについてお伝えしていきます。

【敷地の排水】

敷地内に水溜まりができて、長時間乾かないなど敷地に湿気が多い状態が続くと、健康上、好ましくないばかりでなく、住宅の劣化を早め、シロアリの被害の原因にもなりますので、スムーズに排水するようにしてください。

また、住宅の周りに設けられている排水用のマスは、詰まりを防ぐためにも時々掃除をしてください。

【基礎周り】

上・下水道工事、植栽など基礎の周辺を深く掘る時は、基礎を傷めないよう十分注意が必要です。

また、住宅に接近して、将来大木に成長するような樹木を植えると、成長に伴って根が基礎を破壊したり、枝葉が屋根などを傷めたりするので避けてください。

【土留め（土止め）・石垣】

土留めや石垣の水抜口は、詰まらないように時々点検してください。

もし、地中の排水ができないと。土留めや石垣が崩れるなどして、大きな事故の原因になることがあります。

土留めがたわんでいたり、土留めや石垣近くが沈下しているのを見つけたような場合には、必ず専門業者に相談してください。



何ごとも事前の適切な対処が大事です。

次回に続く

「心のゴムを緩めましょう」

仕事、勉強、家事や子育てなどで毎日忙しく過ごしている皆さん、ストレスを抱えていませんか？

知らず知らずのうちに、

- 一生懸命頑張らなければいけない
- こんなことを言ったり、したらどう思われるだろう
- 断ったら嫌われるかもしれない
- 子供じゃないのだから、こうあらねばならない

・・・等等。

こんなことで心のゴムを締め付けてはいませんか？

誰だって出来ないこともあって当然ですし、嫌われることだってあります。

常に 100 点満点で生きようとすれば、ストレスが強くなるばかりです。

ですから、人生は 70 点満点と考え、もっと“自分らしさ”を大切にしてみましょう。



そうすると、心の負担が減って、毎日がもっと自由で楽になり、心が元気になるはずです。

「お先へどうぞ・・・」



「お先へどうぞ・・・」
やさしくうつくしい日本語ですね。

ある仏典のあることばに
「自未得度先度他」というのがあります。
棒読みにすると「じみとくどせんどうた」

和文になおすと
「おのれ未（いま）だわたらざる
先に他を度（わた）す」と、読みます。

いいことは、他人（ひと）様を先に・・・
自分のことは後まわし
という意味だそうです。

わたしは、宗教家でも学者でもありませんので
このことばの出所（でどころ）や出典を知りません。

しかし、
「お先へどうぞ・・・」という暖かい日本語は、
この「自未得度・・・」がもとになってできたのでは
ないか・・・
と、素人判断で思っております。

おそらくまちがっているでしょう。
まちがっていてもいいんです。
わたしはそう信じています。

遠い遠い、先祖の日本人が、こんな美しい、
暖かい言葉を残してくれたんです。

他人のことなんかそっちのけ
自分さえよければ・・・
我先に、我先に・・・と、
みんな夢中で突ッぱしる。



物はいっぱいありながら、
殺伐として満たされない
心の潤れきった世の中。

もう一度「お先へどうぞ・・・」
という、うるおいのある美しい日本語で
お互いに呼びかけ合える
世の中になって欲しいなあ・・・

梅雨にぬれて
一段と色あざやかな
あじさいの花が
ある日の午後しみじみと
わたしに語りかけてくれました。



今月は、私の好きな「相田みつをさんの詩集」から、
紹介させていただきました。

私たちの日常生活の中、例えば電車やバス、あるいは
エレベーターの乗り降りの際などに、「お先に」と、
ひとこと声を掛ければ「どうぞ」という言葉が返って
くるに違いありません。

相手への敬意と感謝の気持ちがあれば、もう少し暮ら
しやすい社会になるような気がします。皆さんはど
う思われますか？

「編集後記」

1年を通じ最も嫌われる梅雨のシーズンを迎えました。
しとしとジメジメの長雨は、嫌なイメージばかりですが、
水は、私たちの生活に密着した大切な資源でもあります
ので、感謝しなければいけませんね。

最近、デザインやカラーが豊富な傘やレインブーツ
なども沢山売られていますので、雨の日を楽しむのも
一案かも？

青、白、紫やピンクと色とりどりの紫陽花に癒されつつ、
どうぞお元気でお過ごしください！

今月もお読みいただき有難うございました。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

また、ご不要の方もご一報くださいね。



編集責任者

渡辺 田鶴子